

Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (138) まちづくり協定の進捗状況と支援の状況

これまでは

次のようなまちづくりの構想が進んでいます。

○桜井市 大神社参道周辺地区



（大鳥居ゲートウェイゾーン イメージ）

（境内へのエントランスゾーン イメージ）



（まちなか交流ゾーン イメージ）

【まちづくり基本構想抜粋】

もっと良くするために

市町村と協働してのまちづくりの構想は令和2年1月現在27市町村55地区です。その実現をさらには後押しします。

鉄道駅
周辺開発

賑わい拠点
づくり

○川西町 近鉄結崎駅周辺地区

○五條市 五條中心市街地地区



近鉄結崎駅西駅前広場の整備イメージ



賑わい広場の整備イメージ
(H30年4月時点)

参道
活性化

公有地
活用

○桜井市 長谷寺門前町周辺地区

自然・
公園利用

公営住宅
活用



←桜馬場周辺の整備イメージ

令和2年度予算案 236百万円

R2予算案 236,000千円

まちづくりを進めている市町村と段階的に連携協定を締結し、協働してまちづくりを推進
令和2年1月現在27市町村(55地区)と包括協定を締結

[令和2年度の取組]

○個別協定段階の市町村のハード事業への支援

- ・ 桜井中央児童公園再整備、地域交流センター・交流広場整備(桜井市中和幹線粟殿近隣周辺地区)
- ・ 桜馬場整備、サイン整備(桜井市長谷寺門前町周辺地区)
- ・ JR新駅及び(仮称)奈良ICにおける交通結節点の整備(奈良市八条大安寺周辺地区)
- ・ 旧奈良監獄アクセス道路整備(奈良市奈良公園周辺地区)
- ・ 新庁舎前の賑わい空間整備、新庁舎アクセス道路整備(五條市五條中心市街地地区)
- ・ 医大新キャンパスアクセス道路整備(橿原市医大周辺地区)
- ・ 近鉄結崎駅へのアクセス道路整備、西口公園整備(川西町近鉄結崎駅周辺地区)

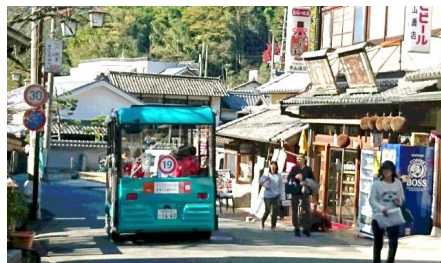
○個別協定段階の市町村のソフト事業への支援

- ・ アーティスト・イン・レジデンス事業(天理市天理駅周辺地区)
- ・ リノベーションスクールの実施、民間まちづくりセミナー開催事業(大和郡山市近鉄郡山駅周辺地区)
- ・ JR大和二見駅周辺整備検討事業(五條市五條中心市街地地区) ほか

○包括協定・基本協定段階の市町村の構想・計画の策定への支援

- ・ 奈良市、橿原市、広陵町、上北山村、吉野町、斑鳩町、山添村、下北山村、黒滝村、その他新規に包括協定を締結した市町村

○市町村と連携したまちづくりを推進するため、地域デザイン推進局に「まちづくり連携推進課」を設置



社会実験(グリーンスローモビリティ運行)実施
(桜井市長谷寺門前町周辺地区)



賑わい広場の整備イメージ
(五條市五條中心市街地地区)

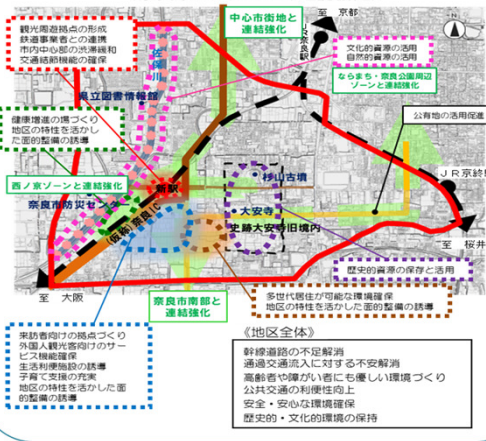
＜問い合わせ先＞
まちづくり推進局
地域デザイン推進課
岸田主幹(内線4311)

Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (139) JR新駅周辺のまちづくり

これまでは

JR新駅周辺(八条・大安市場周辺地区)の整備構想の検討を行っています。

まちづくり基本構想図
(奈良市とのまちづくり連携協定)



もっと良くするために

(新) AIタウンにおいて提供する具体的な都市サービスを検討します。(12百万円)

- 観光客向けのキャッシュレスサービス
 - ・ホテルのチェックイン、部屋の施錠、買い物、テーマパークへの入場等をすべて顔認証で完結させるサービスの提供
- MaaS
 - ・出発対から目的地まで、公共交通、タクシー、駐車場、自転車等の一気通貫サービス(MaaS)の提供

令和3年度にまちづくり基本計画を策定、令和4年度にAIタウン事業計画を策定します。

- 京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等の整備(1,127百万円、R元・2月補正 210百万円)
- 奈良市によるJR新駅西口駅前広場整備事業(用地買収等)への支援(15百万円)



令和2年度予算案 1,154百万円
令和元年度2月補正予算案 210百万円

R2予算案 1,154,418千円、R元・2月補正予算案 210,000千円

1. AIタウンにおいて提供する具体的な都市サービスを検討(12,000千円)

<スケジュール>

	県	奈良市
～H31年度		まちづくり基本構想の策定
R元年度	コンセプトの検討(～R2)	
R2年度	具体的な都市サービスの検討(～R3)	
R3年度	AIタウン構想の策定	まちづくり基本計画の策定
R4年度～	AIタウン事業計画の策定	

<都市サービスの例>

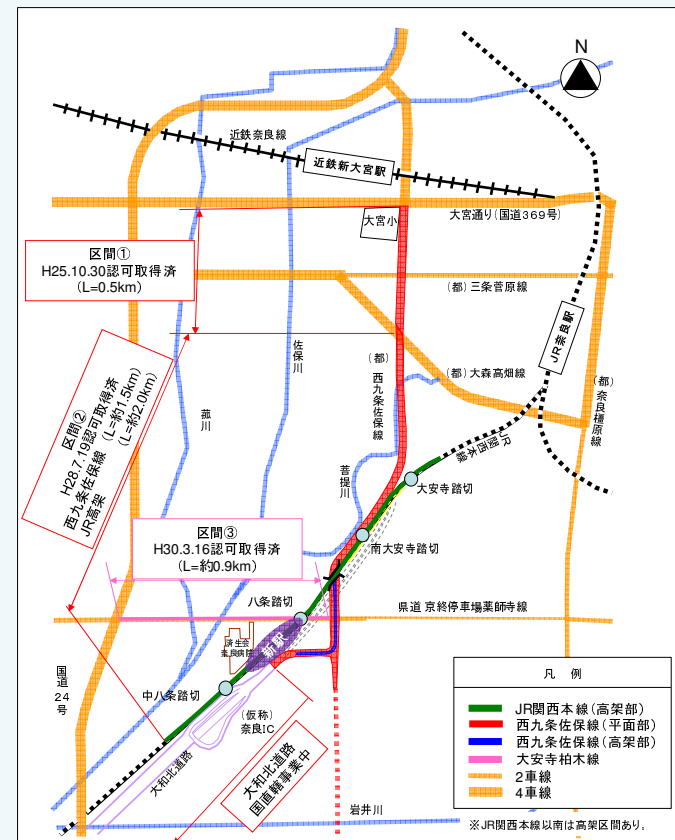
- ①観光客向けのキャッシュレスサービス
 - ・ホテルのチェックイン、部屋の施錠、買い物、テーマパークへの入場等を全て顔認証で完結させるサービスの提供
- ②MaaS
 - ・出発地から目的地まで、公共交通、タクシー、駐車場、自転車等の一気通貫サービス(MaaS)の提供

2. 奈良市によるJR新駅西口駅前広場整備事業(用地買収等)への支援(15,192千円)

○JR新駅周辺のまちづくりを推進するため、県土マネジメント部に「まちづくりプロジェクト推進課」を設置

3. 京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地部を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等の整備(R2予算案 1,127,226千円、R元・2月補正予算案 210,000千円)

・用地買収、補償調査、詳細設計等

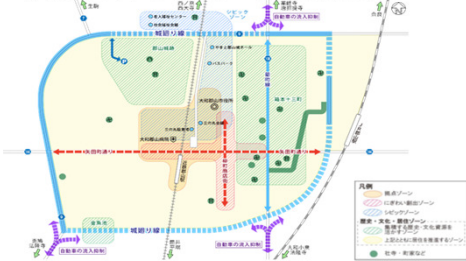


<問い合わせ先>
まちづくり推進局 地域デザイン推進課 松並主幹(内線4324)

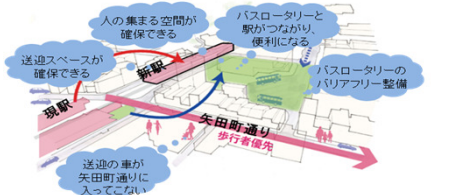
Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (140) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

これまで

近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想図
(大和郡山市とのまちづくり連携協定)



まちづくり基本計画を策定しました。



基本計画をもとに駅周辺施設全体計画の策定を進めています。

もっと良くするために

鉄道事業者との令和2年度、概略設計、事業費算出の調整を進め、令和3年度当初の県、市、近鉄3者協定締結を目指します。

令和4年度の都市計画決定、令和5年度の新規事業化を目指します。

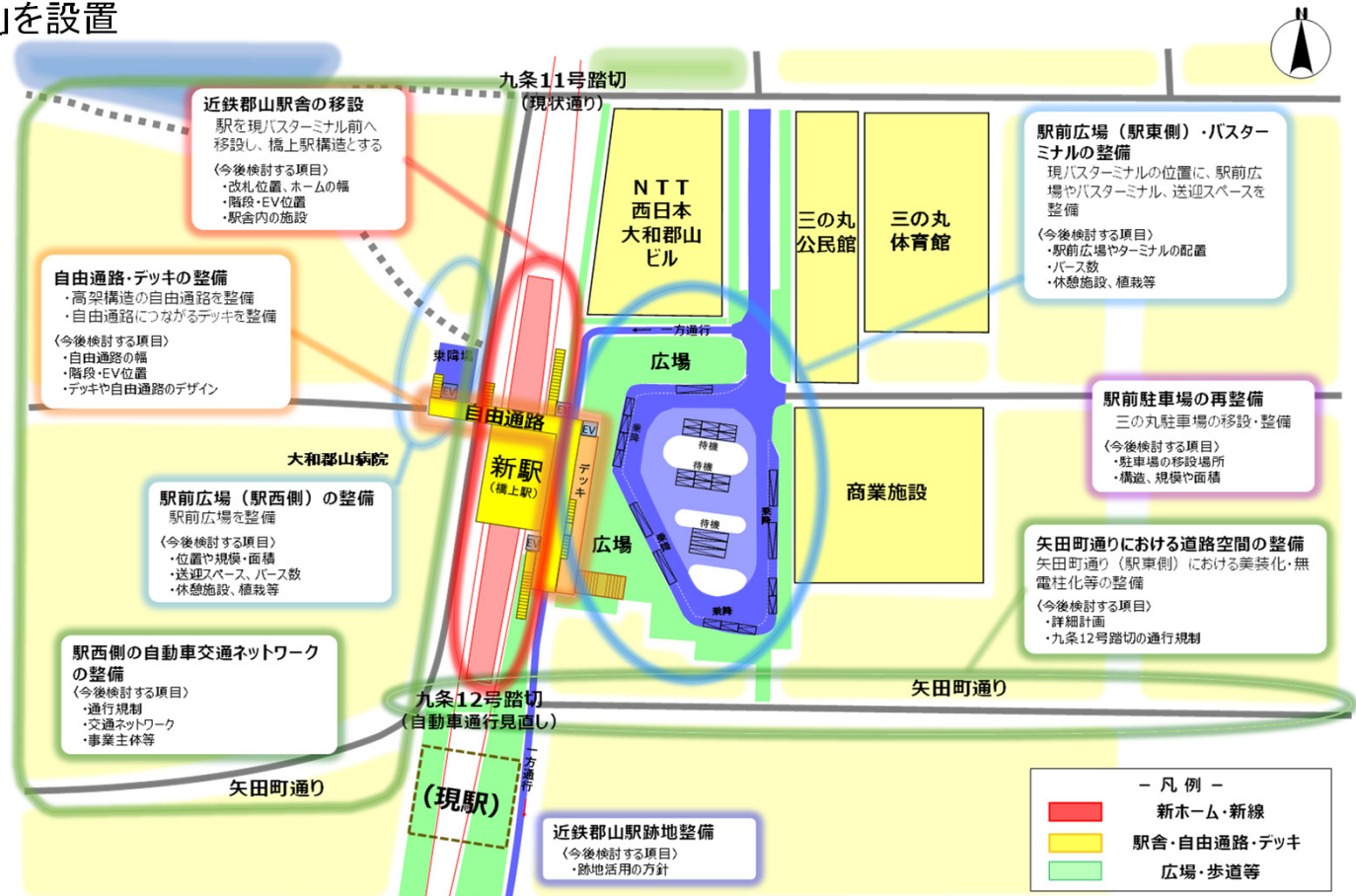
- 令和2年度内の九条12号踏切の踏切道改良計画策定に向け、駅舎移設に伴う自由通路の概算事業費算出(6百万円)
- まちづくり連携協定に基づく、近鉄郡山駅周辺整備事業(駅前広場(駅東側)整備検討業務)等に対する補助(10百万円)



令和2年度予算案 16百万円

R2予算案 16,444千円

- 「九条12号踏切の踏切道改良計画」策定のため、駅舎移設に伴う自由通路の概算事業費を算出(6,000千円)
※令和2年度中の改良計画の策定が国から義務付け
- まちづくり連携協定に基づく、近鉄郡山駅周辺整備事業(駅前広場(駅東側)整備検討業務)等に対する支援(10,444千円)
- 近鉄郡山駅周辺のまちづくりを推進するため、県土マネジメント部に「まちづくりプロジェクト推進課」を設置



近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画 基本計画図(近鉄郡山駅前)

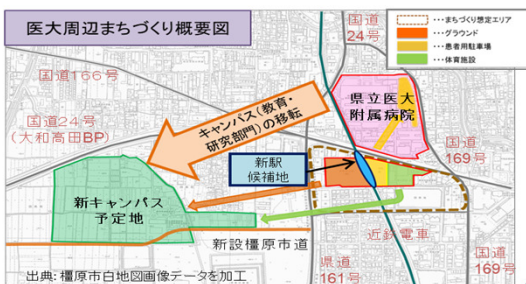
区 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (141) 県立医科大学周辺のまちづくり

これまでは

医大附属病院周辺に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまち」を目指し、橿原市と協働して基本構想の作成を進めています。

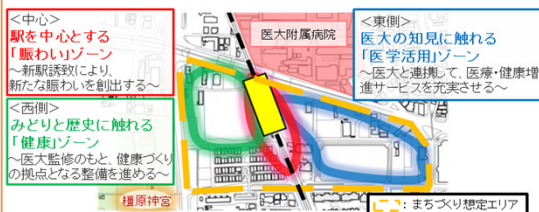
県立医科大学周辺のまちづくり構想

- 整備コンセプト
- ・医大との連携を活かした健康増進のまちづくり
- ・新駅の利便性を活かしたまちづくり



もっと良くするために

基本コンセプト案は「健康増進の拠点となるまちづくり」、「地域住民・来訪者が、健康について学び、実践し、歴史を身近に楽しく交流する賑わいのあるまちづくり」



新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅移設。八木西口駅存廃の方針決定が令和2年度中に行えるよう協議・調整を加速。

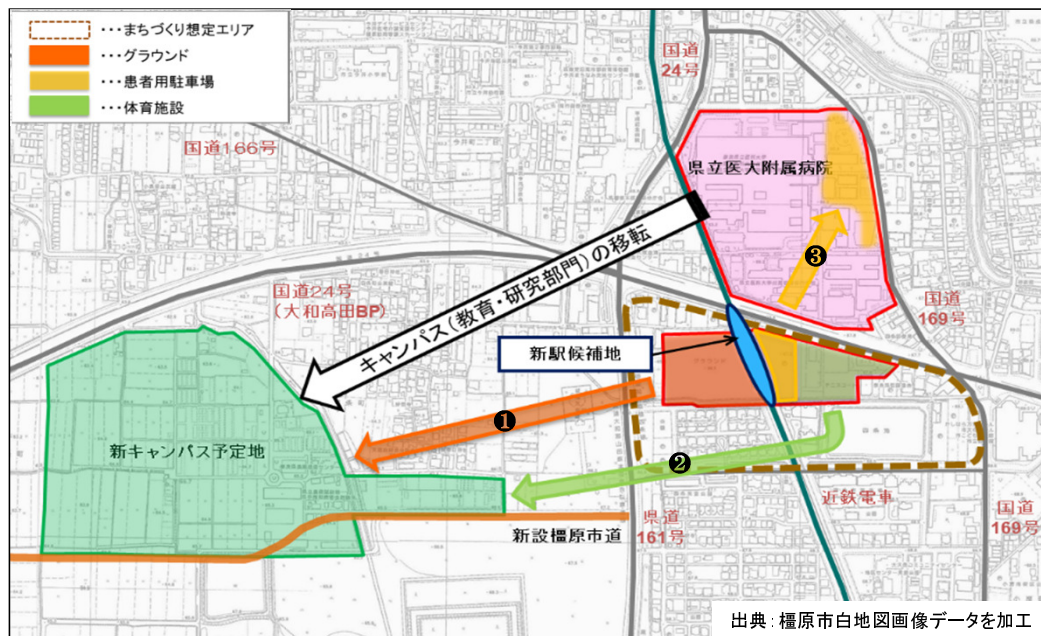
八木西口駅存廃の決定、基本構想の策定(令和2年度予定)、基本計画の策定(令和3年度予定)が関係者との協議・調整のもと、順調に進捗した場合は、医大周辺まちづくり、新駅の設置については、令和7年度に工事着手可能となります。(医大新キャンパス先行整備工事も令和6年度完了予定)

令和2年度予算案 833百万円

R2予算案 833,471千円

○県立医科大学の教育・研究部門の移転、県立医科大学附属病院の機能充実及び周辺まちづくりの推進

進め方



【整備手順】

- ・順次、新駅を中心にまちづくり整備を推進
- ①グラウンドを新キャンパスに移転
- ②体育施設を新キャンパスに移転
- ③患者用駐車場を現キャンパスの教育施設跡地に移転
- ・新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅移設
八木西口駅存廃の方針決定が令和2年度中に行えるよう協議・調整を加速

〈スケジュール(予定)〉

- ・令和2年度 八木西口駅存廃の方針決定
基本構想の策定
- ・令和3年度 基本計画の策定
- ・令和6年度 医大新キャンパス先行整備
工事完了
- ・令和7年度 医大周辺まちづくり及び、
新駅の設置工事着手

R2年度の取組

- ①教育・研究部門の移転及び県立医科大学附属病院の機能充実(777,100千円)
・造成詳細設計、建物基本設計(先行整備分)、文化財発掘調査 ほか
- ②県立医科大学附属病院周辺まちづくり(56,371千円)
・新駅の検討、移転跡地等の活用検討 ほか

<問い合わせ先>

- ①医療政策局 病院マネジメント課 森本課長補佐(内線3162)
- ②まちづくり推進局 地域デザイン推進課 岸田主幹(内線4311)

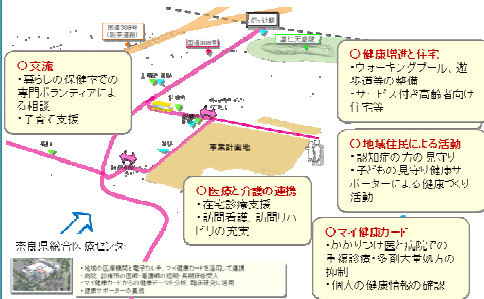


Ⅹ 爽やかな「都」をつくる 26 奈良モデルの実行 (142) 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり

これまでは

奈良県総合医療センター跡地のまちづくりの検討を進めてきました。

奈良県総合医療センター跡地を活用したまちづくりイメージ



奈良市と協同して、まちづくり計画を進める必要があります。

R2予算案 477,700千円

○移転した奈良県総合医療センターの跡地(県有地)を活用し、高齢者だけでなく障害者や子育て世帯など、多様な人々がこのまちで生活し、要介護状態や認知症になっても、共に助け合いながら最後まで生きがいを持って住み続けられるような、地域包括ケアの行き届いた医療・介護・福祉のまちづくりを、官民協働で、市と県が連携しながら目指す ※ 県と奈良市によるまちづくり包括協定締結済み(平成27年1月)

1. R2の取組

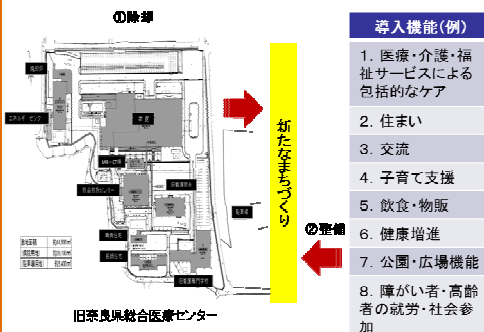
- 県有地利活手法検討、不動産鑑定評価 【県】 (5,300千円)
- 建物除却工事(R2~R4)、家屋補償事前調査 【病院機構】 (472,400千円)

2. スケジュール

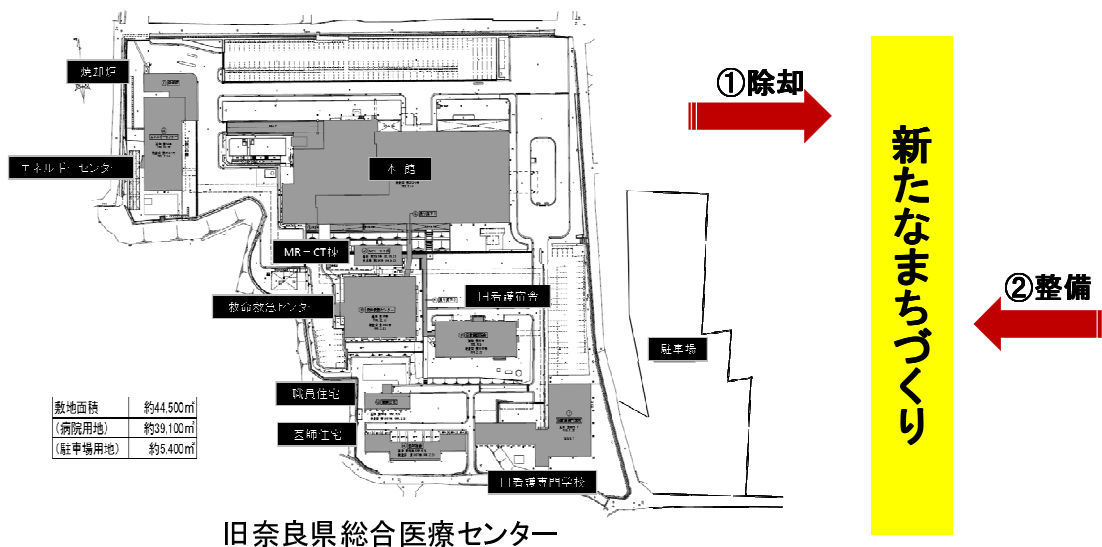
- 平成29年度~令和元年度 建物除却設計、土壌汚染調査、土壌汚染対策工事
- 令和2年度 建物除却工事、家屋補償事前調査、県有地利活手法検討、不動産鑑定評価
- 令和3年度~令和4年度 建物除却工事、家屋補償事後調査・補償
- 令和5年度~ 新施設の設計 等

もっと良くするために

- ・高齢の方や障害のある方にやさしく、また、認知症の方の見守りもでき、乳幼児や子育て世代も対象とする。県・奈良市連携による地域包括ケアシステムの拠点づくりをコンセプトとして、まちづくりを進めます。
- ・並行して、旧病院建物の除却工事及び関連調査等を着実に進めます。



令和2年度予算案 478百万円



導入機能(例)
1. 医療・介護・福祉サービスによる包括的なケア
2. 住まい
3. 交流
4. 子育て支援
5. 飲食・物販
6. 健康増進
7. 公園・広場機能
8. 障がい者・高齢者の就労・社会参加

〈問い合わせ先〉
福祉医療部医療政策局 病院マネジメント課 奥課長補佐(内線3122)